債券利息	0		
債券発行費償却	0		
租税公課	3,618,937,401		
その他の経常費用	10,824,893		
（特別損失）			
株式等評価損	109,599,000		
（法人税等）			
法人税等	90,429,132,596		
法人税、住民税及び事業税	90,429,132,596		
（当期利益）			
当期利益金	226,221,899,702		
合計	**322,249,479,051**	**合計**	**322,249,479,051**

重要な会計方針等

1．有価証券の評価基準および評価方法
　決算日の市場価格等に基づく時価法によっている。
　なお、評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却原価は移動平均法により算定している。
　ただし、満期保有目的の債券は償却原価法（定額法）によっている。

2．金銭の信託の評価基準および評価方法
　運用目的の金銭の信託は時価法によっている。

3．固定資産の減価償却方法
　⑴　有形固定資産
　　使用可能と認められる期間にわたって、定額法により行っている。
　　なお、減価償却累計額は次のとおりである。
　　843,200円
　⑵　無形固定資産
　　自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（５年）に基づく定額法により行っている。

4．その他財務諸表作成のための重要な事項
　⑴　繰延資産の処理方法
　　債券発行費については、銀行等保有株式取得機構債の償還期間（２年間）にわたり定額法により償却を行っている。
　⑵　売却時拠出金資産見返について
　　売却時拠出金資産見返は、法律第四十八条第一項第二号に掲げる業務に要する費用に充てるため、法律第四十一条第三項の定めるところにより法律第三十四条第一項第一号に規定する株式の買取りの申し込みをした会員が納付したものである。

5．財務諸表等作成目的及び想定利用者
　財務諸表等は、株式等の保有の制限等に関する法律の規定に従い内閣総理大臣および財務大臣に提出するために作成している。

6．その他
　国庫納付について
　第50回通常総会における決議を前提に、当会計年度剰余金のうち800,000,000,000円について令和８事業年度の処分、国庫納付を予定している。

石炭鉱業年金基金令和７事業年度決算等に関する公告

令和８年７月31日

北海道釧路市北大通12丁目１番地４
石炭鉱業年金基金
理事長　菊地　靖則

１．令和７事業年度の貸借対照表及び損益計算書の要旨

貸　借　対　照　表　の　要　旨

（年金経理）　（令和８年３月31日現在）　（単位：千円）

資産の部		負債及び資本の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	3,456,134	流動負債	179
現金・預金	3,438,020	未払金	179
未収金	3,092	支払準備金	56,324
未収収益	15,022	責任準備金	3,055,650
投資	10,190,968	投資資産評価調整額	159,556
特定金銭信託	4,532,898	基本金	10,375,392
有価証券	5,658,069	別途積立金	8,923,177
		当期剰余金	1,452,215
資産合計	**13,647,103**	**負債・資本合計**	**13,647,103**

㈱　本表中の数値は千円未満を切捨てしたものであり、科目の積上げ値はその合計値と必ずしも一致しない。

損　益　計　算　書　の　要　旨

（年金経理）　（自令和７年４月１日　至令和８年３月31日）　（単位：千円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
事業支出	337,947	事業収入	1,529,472
年金給付	337,666	掛金	218
死亡一時金給付	280	運用収益	1,529,254
運用支出	60,712	前期末支払準備金	62,659
信託委託料	60,712	前期末責任準備金	3,463,622
繰入金	92,905		
業務会計へ繰入	92,905		
当期末支払準備金	56,324		
当期末責任準備金	3,055,650		
当期剰余金	1,452,215		
合計	**5,055,753**	**合計**	**5,055,753**

㈱　本表中の数値は千円未満を切捨てしたものであり、科目の積上げ値はその合計値と必ずしも一致しない。